

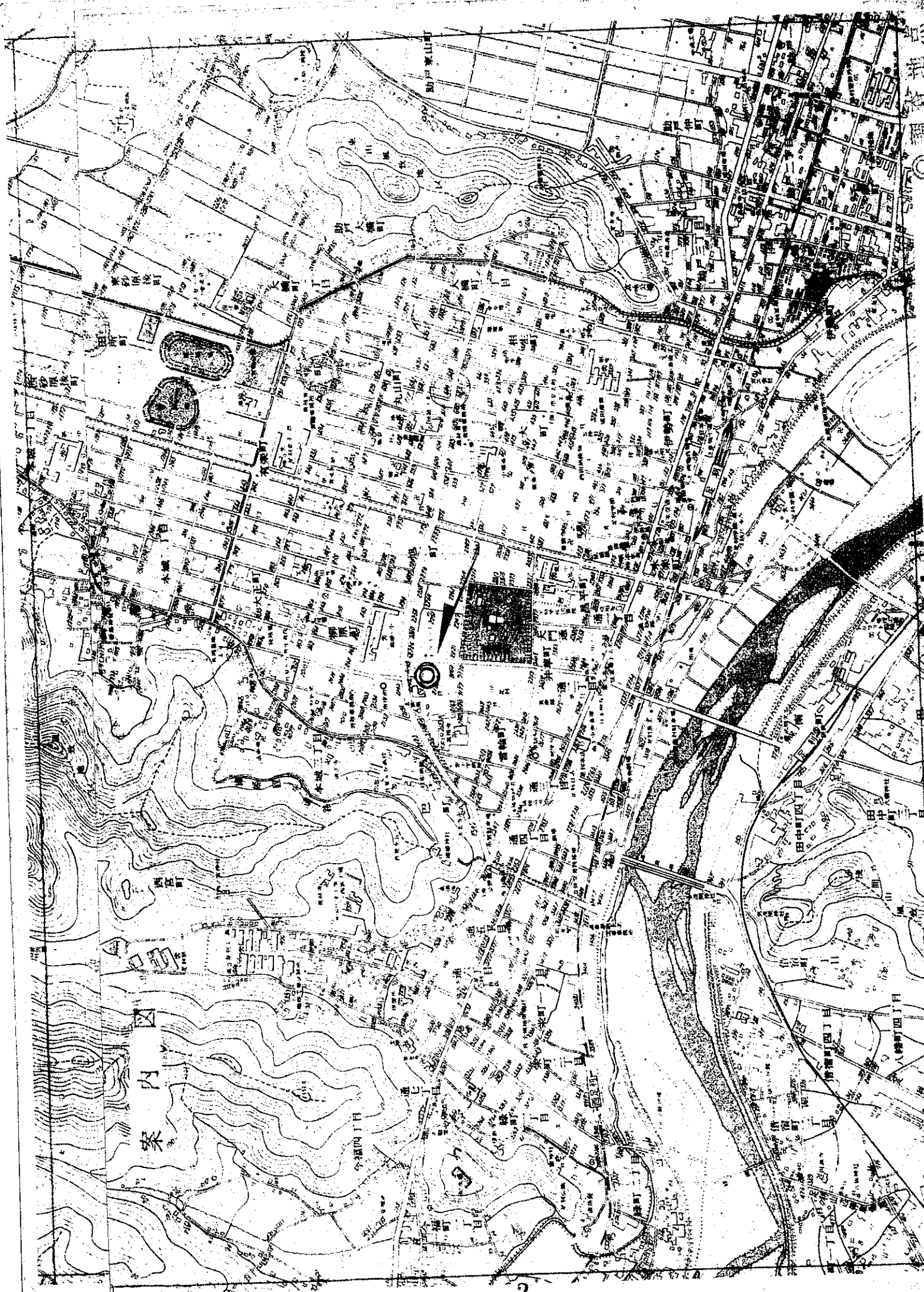
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

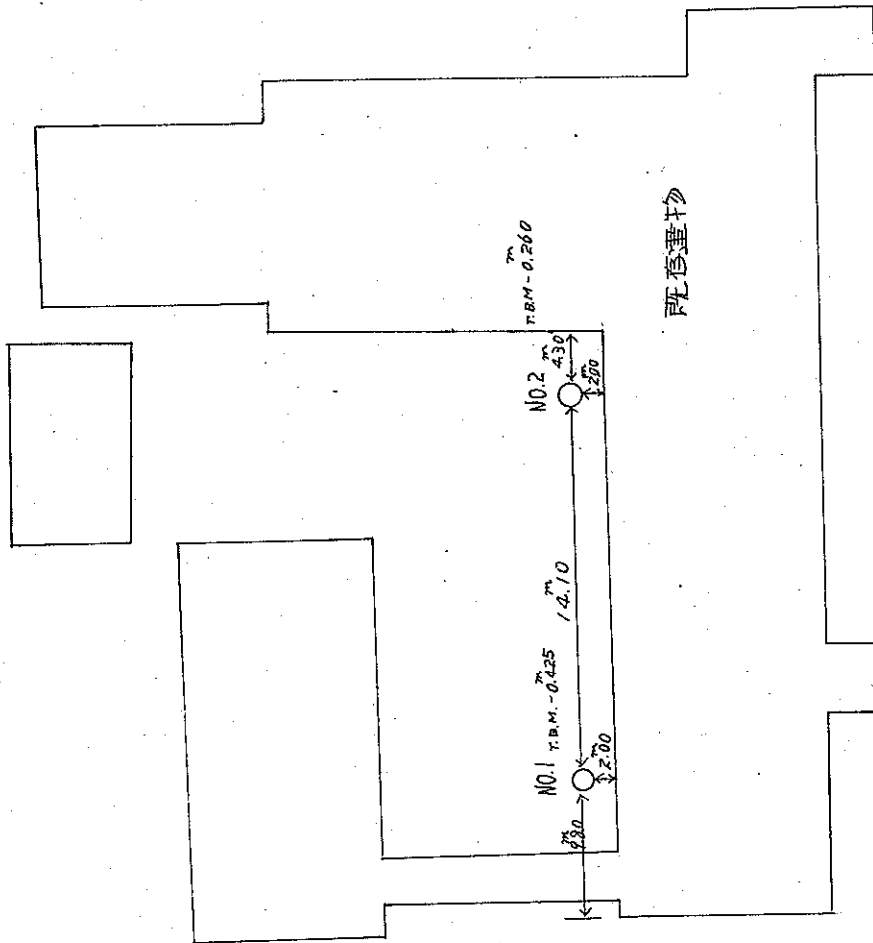
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



調査位置図(略図)



前面道路

# 地質柱状図 (NO. 1)

足利警察署新築工事に伴う地質調査

調査地 栃木県家畜町2143番地

調査年月日 昭和43年5月7日~43年5月11日

標高                      M 孔内水位 G.L. - 1.50 M 技術者                     

標高 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察	相対 密度	相対 稠度	現位置 試験深度 m	標準貫入試験						試料							
									深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値						採方 不乱攪	取法 乱攪	採取 深度 m
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
1.00	1.00	X	黒灰	盛土	上部シルト、0.70Mから炭がらである。礫混る。最大礫径100%。		中	1.00	5/32	2/9	2/15	1/8							1			
1.90	0.90	—	暗灰	シルト	細砂混る。		中	2.00	5/32	1/9	2/14	2/9							2			
3.61	1.71	●	暗褐	細砂	堅母混入。酸化している所有り。3.58M~黒色の粘土はじむ		緩	3.00	6/31	2/9	2/14	2/10							3			
4.00		○	暗灰	砂礫	礫径10~30%。最大礫径70%。5.80M辺から大きい礫少い。		硬	4.00	50/27	17/17	16/7								4			
5.00								5.00	50/19	21/21	29/9								5			
6.65	3.04							6.00	50/14	30/30	20/4								6			
																			7			
																			8			
																			9			
																			10			
																			11			
																			12			
																			13			
																			14			
																			15			

